

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	523 生涯学習推進啓発事業	会計	01	一般会計
基本 施策	33 だれもが生きがいを持てる機会をつくる	款	10	教育費
		項	05	社会教育費
		目	01	社会教育総務費
施策	3 地域学習活動の推進	細目	102	生涯学習推進事業
		細々目	01	生涯学習推進啓発事業
基本計画該当頁		132		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 450400 名称 教育委員会 生涯学習課	評価者氏名	前田 明伸	連絡先 22 - 9679 (内線) 3830

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
学習意欲を持つ市民 (※対象件数 )	市民の学習意欲に応えることで自己実現が図れる。学習機会が増え、参加者が増加する。また、大学の機関と連携することによって、少ない経費で学習の機会提供を図る。
根拠法令・要綱等 開始年度 平成 年度 終了年度 平成 年度	関連事業
事業内容 市民大学講座の開催 演題 ・介護と生命倫理 ・高齢者虐待について ・地震災害の現実と地震対策～地域で取組む実践的活動とは？～ ・家庭の子育てと教育 ・メタボリックシンドロームと生活習慣 ・高齢期の健康について一介護予防に焦点をあててー 生涯学習市民講座 ・渡辺千賀子おはなしコンサート	状況変化等 講演会や学習会等は、教育委員会や関係団体がそれぞれ独自で実施をしているが、類似事業の統合や、魅力ある講師、講演内容向上の取り組みをしている。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
大学講座(年間6回開催)の開催回数	回	目標 6 実績 6	目標 6 実績 6	6	6
生涯学習市民講座	員	目標 実績	目標 1 実績 1	0	1

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
市民大学講座の受講者数	自己の教養を高めるための意識としての参加者数を意欲と捉える。	人	目標 225 実績 68	目標 260 実績 581	270	260
生涯学習市民講座受講者数	テーマを絞って開催し参加者の学習を深める。	人	目標 実績	目標 400 実績 410	0	400

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	市民の方に生涯を通して学習する機会を提供することはひとが輝く社会を創造する市として重要な施策です。生涯学習の一端として大学等と連携し市民の学習意欲に応える講演等の開催を市と民間等と協力して実施していく必要がある。
有効性	4	生涯学習の講座等に多くの参加者が集うことが成果を図る目安となる。しかし、平成19年度は当初の目標通りの結果となった。その理由として、演題のテーマに合った受講対象者へ講座の周知に努めたことが結果に結びついた。又、生涯学習市民講座に人権をテーマとした講座を設け、生涯学習の基本を確認する場が出来た。
達成度	4	計画通りに講座を実施した。又、人権にテーマを絞った生涯学習市民講座を開催した。
効率性	4	教育機関(大学)の全面協力により質の高い内容を安価な費用で実現されている。削減の余地はない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	市民大学講座の会場は上野地区の2ヶ所で開催された。今後は他の地域においても計画し、エリアを拡大していく。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容				平成23年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
委託	⇔	講演委託料			522	講演委託料			542	講演委託料			312	講演委託料			500	講演委託料			500	講演委託料			500
		印刷製本費			99	印刷製本費			105	印刷製本費			0	印刷製本費			100	印刷製本費			100	印刷製本費			100
		会場借上料			0	会場借上料			75	会場借上料			0	会場借上料			70	会場借上料			70	会場借上料			70
工事	⇔	その他			97	その他			120	その他			33	その他			33	その他			33	その他			33
		事業費計(A)			Σ	718	事業費計(A)			Σ	842	事業費計(A)			Σ	345	事業費計(A)			Σ	703	事業費計(A)			Σ
進捗率(%)																									
事業投入人員		人件費(B)	0.3	人	2,304	人件費(B)	0.3	人	2,304	人件費(B)	0.3	人	2,304	人件費(B)	0.3	人	2,304	人件費(B)	0.3	人	2,304	人件費(B)	0.3	人	2,304
フルコスト (A)+(B)					3,022				3,146				2,649				3,007				3,007				3,007

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	718	842	345	703	703	703
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	718	842	345	703	703	703
計	718	842	345	703	703	703
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					